

学校だより

地域とともにある学校

～三つの満足で「学校」大好き～

令和8年8月31日 No.4

《文責：校長（告本）》



いずみん

2学期スタート～子どもたちの笑顔とともに～

7月28日に発生した地震から1か月が経過した8月28日(金)、本校では無事に2学期の始業式を迎えることができました。

地震の翌週には、運動場や校舎、通学路の安全を十分に確認したうえで、中学生の部活動を再開しました。当時は地域によって断水が続いていたため、部活動の後には学校の寮でシャワーを浴び、エアコンが入った教室で自習をしてから帰宅するという流れを整えました。「一日でも早く子どもたちの日常を取り戻したい」という思いからの判断でしたが、友達と楽しそうに話す笑顔や部活で汗を流す姿に、私たち教職員も大きな勇気をもらいました。

始業式当日は、小学生にとって久しぶりの登校となりました。「早く学校に来たかった！みんなに会えて嬉しいです！」と弾んだ声で話してくれる児童もあり、胸が温くなる思いでした。

始業式では代表の児童生徒が2学期の目標を発表しました。

小学生からは「九九を覚えたい」「自分で勉強時間を決める」「運動会の団長として頑張りたい」、中学生からは「陸上で100m12秒台を目指したい」「継続することを大切にする」「受験に向けて勉強に力を入れる」といった力強い決意が聞かれました。また、大きな試練を経験したことで「周りの方々への感謝」や「仲間への思いやり」の大切さを語る生徒もあり、子どもたちがこの夏、さまざまな思いを胸に一歩たくましく成長したことを実感しました。



また、始業式の中で、私から子どもたちへ次のようにメッセージを送りました。

「2学期は学校生活を楽しみ、思い切り笑って、たくさんのことに挑戦しよう。もし心が疲れたときは、いつでも周りを頼ってください。先生たちは絶対に皆さんを一人にしません」

あわせて、万が一校内で再度地震が発生した際の適切な身の守り方についても、全員で改めて確認しました。

この日は久しぶりに、子どもたちの元気な歌声が校舎いっぱい響き渡りました。やはり子どもたちの明るい声こそが、学校や地域を元気にする一番のパワーだと実感させられます。

今学期は運動会や文化祭など、子どもたちが楽しみにしている行事が多く控えています。一人ひとりが心と体の声に耳を傾けながら、それぞれのペースで焦らず進んでいきます。

我々教職員自身も自宅が被災するなど厳しい状況にありますが、職員一丸となって子どもたちの成長を支えてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、今後とも温かいご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

